大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3−2−95	電話 大阪	06(586)3200	〒550
南部支社	堺市北旅籠町2−2−19	電話 堺	0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39−6	電話 高槻	0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2−3−17	電話 河内	0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1−8−2	電話 神戸	078(360)3100	〒650
京都支社	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京都	075(311)7381	〒600
奈良支社	奈良市学園北2−4−1	電話 奈良	0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1−5	電話 和歌山	0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4−8	電話 姫路	0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6−37	電話 豊岡	0796(23)2221	〒668
滋賀支社	草津市追分町[illegible]680−1	電話 草津	0775(62)5311	〒525
滋賀東支社	彦根市大東町12−11	電話 彦根	0749(22)3131	〒522
長浜営業センター	長浜市南呉服町3−4	電話 長浜	0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4−1−2	電話 大阪	06(202)2221	〒541

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

ガスシステムエアコン
取扱説明書

保証書付

49-305型
49-306型

組合わせる室外ユニット

室内ユニット		49-305	49-306
冷房用室外ユニット	1室用	--	04-311
	3室用(マルチ)	04-302	

この取扱説明書をよくお読みになり，正しくお使いください。

お読みになったあとは，保証書とともに大切に保存してください。

とじて保存しましょう

目次

大阪ガス

特　長

●冬・夏そして梅雨どきと長い期間使える………　**ワイドシーズンタイプ**

季節に応じて，暖房・冷房・アメニティドライ運転ができます。

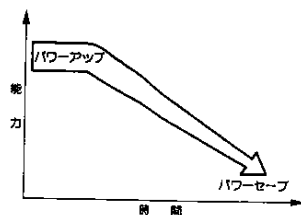
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暖房					アメニティドライ	冷房		アメニティドライ			暖房

暖房運転　外気温に左右されない温水による暖房をします。

冷房運転　部屋の熱をくみ上げて，その熱を室外へ放出して部屋を冷房します。

アメニティドライ運転　梅雨どきなどジメジメしてうっとうしいときに，温水の働きでお部屋をカラッと除湿します。

●部屋の温度に応じて
暖房あるいは冷房能力を自動制御……　**能力自動制御**

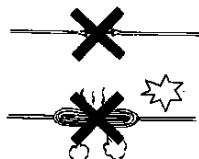
暖房運転開始時など室温が低いときは暖房能力をアップ，お部屋の温度が高くなると自動的に暖房能力を抑えた効率のよい運転を行います。
したがって一般のエアコンに比べて断続(運転・停止の繰り返し)が少なくなりますので，室温の変動が少なく，快適で省エネにも優れた暖房を行います。
冷房時は，暖房とは反対に，室温が高いときには冷房能力をアップ，快適室温に近づくと冷房能力を抑えた効率のよい冷房運転を行います。

●居住する部屋を暖・冷房または，アメニティドライ運転するエアコンです。
農・工業用空調など，他の目的には使用しないでください。

安全のため特に注意していただきたいこと

電源は単相100V(ボルト)

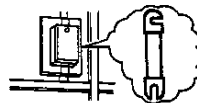
マルチ室外ユニットと組合わせる場合は，室内ユニットに単相100Vを接続し，室外ユニットには単相200Vを接続します。

他の電源を使用しますと，電気部品が過熱したり，焼損する原因になります。

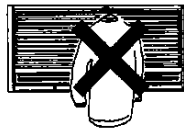
電源配線はていねいに

電線配線はていねいに扱ってください。
配線がいたみますと焼損や漏電のおそれがあり危険です。

棒などを入れないで

室内ユニット・室外ユニットの吸込口・吹出口に細い棒などを入れないでください。
ファンが高速で回転しているので危険です。

ヒューズは正しいアンペアのものを

ヒューズの代わりに針金や銅線などを使わないでください。
故障や火災の原因になります。
(ブレーカーが設置されてなく，図のような安全器(ヒューズ)をお使いのご家庭の場合。)

暖房運転時のご注意

●空気吹出口や室内ユニット前面に障害物を置かないでください。
温風吹出口や風向板が変形する場合があります。
●温風吹出口の近くには，温風で変形するものは置かないでください。

凍結防止について

●暖房用循環水の凍結を防止するため，**必ず「不凍液」を注入してください。**

冬期の凍結防止

●冬期エアコン停止中でも電源（ブレーカー）を切らないようにしてください。
冬期外気温が0℃以下になりますと熱交換器や温水回路，暖房用熱源機の熱交換器の水が凍結し，熱交換器や配管などが破損することがあります。室内温度が約10℃以下になるとエアコンの停止中は，温水弁を開いて水を循環させ，温水回路などの破損を防止することができます。しかし，エアコン停止中他の暖房装置を使った場合には，外気温が0℃以下であっても室内温度が10℃を超えていると，温水弁は開きません。このため水が循環せず凍結防止を行うことができませんので他の暖房装置を使う場合にはエアコンを暖房運転してください。

●流量可変弁が開くと水が循環する音が聞こえる場合がありますが，異常ではありません。

冷房運転中，アメニティドライ運転中の凍結防止

●冷房運転中，アメニティドライ運転中室内温度が異常に低いとき，またはエアフィルターの目づまりによって風量が著しく減少したときなど熱交換器が凍結し，破損するのを防止するために保護装置により，一時，冷房運転，アメニティドライ運転が停止することがあります。

各部の名称と働き

（イラストは04-311を表します）

室内ユニット表示部

運転ランプ
運転中に点灯します。

パワフルドライランプ
リモコンのドライ切換ボタンを押しますとランプが点灯し，パワフルドライ運転を行います。（消灯時はアメニティドライ運転を行っています。）

光センサー
"おやすみ運転"のとき，部屋の照明が消えたかどうかはここで監視しています。
（詳しくは☞18ページ）

ホットキープランプ
暖房運転中の次の場合に点灯します。

(1)予熱中
運転開始直後の数分間。

(2)設定温度になったとき
部屋の温度が設定温度になり，暖房運転が停止したとき。

タイマーランプ
タイマーを予約したときに点灯します。

室内ユニット操作部

電源スイッチ

応急運転スイッチ（風向調節板の中）
電池切れなどでリモコンが使えないときの応急運転用のスイッチです。
（詳しくは☞17ページ）

リモコン

運転内容，タイマーセット内容などを，室内ユニットに指令する送信機です。リモコン操作時は必ず送信部を室内ユニット指示部（受信部）に向けてください。送信距離は約7mです。部屋の照明が電子点灯形の場合には，送信距離が短くなることがあります。
付属の取付具で柱などに固定して使うこともできます。この場合は，事前に室内ユニットが受信できることを確かめ，取付け位置を決めてください。

送信部・送信マーク
送信するときは，室内ユニットに向けてください。なお，このとき送信マークが点滅します。（時・分ボタン，選択ボタン，現在時刻ボタンは除く）

電池交換マーク
[+ -]が点滅したら，電池の交換時期です。

表示部
設定室温，現在時刻，タイマー運転，運転の種類および風速の種類等を表示します。

タイマー運転設定
タイマーをセットするときに使います。（詳しくは☞15，16ページ）

現在時刻ボタン
現在時刻をセットするときと，その確認に使います。

運転切換ボタン
運転の種類を選びます。ボタンを押すと運転表示が自動→暖房→ドライ→冷房→送風の順で変わります。

室温設定ボタン
設定室温を変えたいときに使います。

風速切換ボタン
風の強さを選びます。ボタンを押すと風速表示が自動→強風→弱風→微風の順で変わります。（自動，ドライ，送風運転は除く）

ドライ切換ボタン
"パワフル"と"アメニティ"を切換えるボタンです。一度押しますとパワフルドライランプが点灯し，パワフルドライ運転となります。（ドライ運転時）

運転/停止ボタン
一度押すと運転を開始し，もう一度押すと運転を停止します。

電池収納ケース（裏面）
電池を交換するときに使います。（詳しくは☞20ページ）

リモコン使用上の注意

●次のような温度が高くなるところに置かないでください。
正しい運転ができなくなることがあります。
- ●直射日光のあたるところ
- ●ストーブの近くなど

●リモコンはていねいに取り扱ってください。落したり，水がかかったりしますと，送信できなくなることがあります。

●**室外ユニットが運転を停止しますと，約3分間は運転を再開しません。（電源スイッチを入・切したときを除く。）**
これは機械を保護しているためで故障ではありません。そのままましばらくお待ちください。

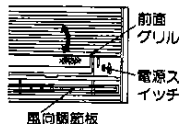
●**運転中に「運転切換ボタン」を押しますと保護回路の働きで約3分間運転を停止することがあります。**

自動運転

運転開始時の温度によって，"暖房""アメニティドライ""冷房"の中から，その室温に見合った運転を自動的に行います。
なお，運転中に室温が変化しても，運転の種類は切り換わりません。

準備

- 電源スイッチを"入"にします。
- 上下風向調節板を暖房あるいは冷房・アメニティドライの位置にします。
(詳しくは☞19ページ)

前面グリル
電源スイッチ
風向調節板

1 **運転切換えボタン**を押します。

運転 表示部に"自動"を表示させます。

- "自動"を表示したときは,そのときの室温に見合った運転内容で"暖房""ドライ""冷房" のいずれかを運転します。
- 風速は"自動"を表示し"暖房""冷房"時は自動，"ドライ"時は微風にセットされ，風速切換えボタンを押しても風速は切り換えられません。

運転/停止ボタンを押します。

"ピッ"という受信音がして，"自動運転"を開始します。
もう一度押すと運転が止まります。

暖房運転開始時および停止時に室内ユニット内部の温水弁の制御音(モーターの回転音)が少し聞こえます。これは温水弁の制御音ですので故障ではありません。

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので，次回からは運転／停止ボタンを押すだけで自動運転ができます。

"設定室温"をあなた好みの温度に調節することもできます。

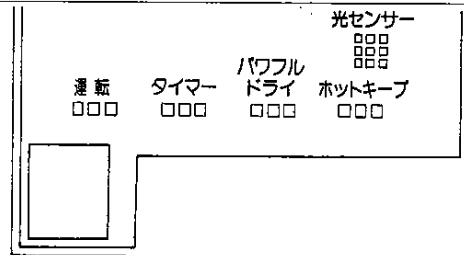
調節できる範囲は，高めに3℃，低めに3℃までです。次の要領で調節してください。

室温設定
それぞれ1回押すごとに1℃ずつ変わります。

- 設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- 自動運転では，設定室温が表示されません。設定室温を変更したときに，室内ユニットから"ピッ"という受信音で変更したことを確認してください。

自動運転中は，次のランプが点灯します。

光センサー
運転
タイマー
パワフルドライ
ホットキープ

表示部

- **運転**：運転中のとき。
- **タイマー**：タイマーがセットしてあるとき。
- **パワフルドライ**：パワフルドライ運転のとき点灯します。
- **ホットキープ**：暖房運転のとき点灯します。

(詳しくは☞10ページ)

自動運転のしくみ …キャッチした部屋の温度によって，次のような運転を行います。

運転開始時の部屋の温度	自動運転の内容		
	運転の種類	設定室温	風の出かた
約27℃以上	冷房	27℃	スタートは"強風"で"設定室温"になると"弱風"に変わります。
約23～27℃	ドライ	ほぼ室温を維持します。	"微風"で運転します。
約23℃以下	暖房	23℃	吹き出す風の温度によって，風の出かたは自動的に変わります。

- 冷房・アメニティドライ運転時，室内の湿度が高いときには風速は自動的に強風となります。

暖房 運転

準備

●電源スイッチを"入"にします。
●上下風向調節板を暖房の位置にします。
(詳しくは☞19ページ)

運転切換えボタンを押します。

運転 表示部に"暖房"を表示させます。

室温設定ボタンを押します。

設定室温表示部にお好みの室温を表示させせます。
設定室温は20～24℃が暖房時に適した使用範囲です。"22"にセットすれば部屋の温度はほぼ22℃になります。
なお，設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。

風速切換えボタンを押します。

風速 表示部にお好みの風速を表示させせます。

●"自動"：吹き出す風の温度に応じて，自動的に風速が変わり，風による肌寒さが少ない快適な運転を行います。
●"強風"：暖まりが速く経済的な運転を行います。ただし，運転開始時は風による肌寒さを感じることがあります。
●"弱風"：静かな運転を行います。
●"微風"：より静かな運転を行います。

なお，"強風"または"弱風"にセットしても，運転開始時は肌寒さを防ぐため，"微風"でスタートします。

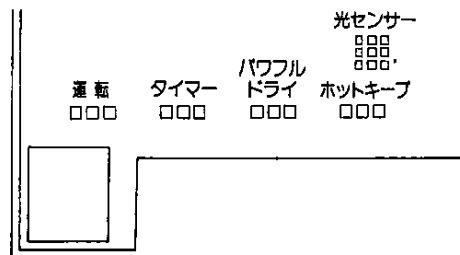
運転/停止ボタンを押します。

"ピッ"という受信音がして，"暖房運転"を開始します。
もう一度押すと運転が止まります。

暖房運転開始時および停止時に室内ユニット内部の温水弁の制御音(モーターの回転音)が少し聞こえます。これは温水弁の制御音ですので故障ではありません。

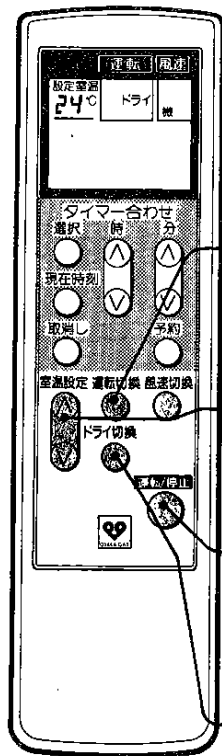
一度セットした内容はリモコンが記憶していますので，次回からは運転／停止ボタンを押すだけで暖房運転ができます。

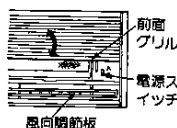
暖房運転中は，次のランプが点灯します。

表示部

運転：**運転中のとき。**
タイマー：**タイマーがセットしてあるとき。**
ホットキープ：次のときに点灯します。点灯中は吹出し口からごく弱い風が出ます。

①予熱中
運転開始直後の数分間。
②部屋の温度が設定温度に達したとき。

アメニティ ドライ 運転

部屋の湿気を取る運転です。アメニティドライ運転は室温が16℃以上でお使いください。

準備

- 電源スイッチを"入"にします。
- 上下風向調節板を冷房・アメニティドライの位置にします。（詳しくは☞19ページ）

1 **運転切換えボタン**を押します。

運転 表示部に"ドライ"を表示させます。

このとき，風速は"微風"にセットされます。風速切換えボタンを押しても風速は切り換えられません。

2 **室温設定ボタン**を押します。

設定室温 24℃

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

設定室温は20～26℃がドライ時に適した使用範囲です。

運転/停止ボタンを押します。

"ピッ"という受信音がして"ドライ運転"を開始します。もう一度押すと運転が止まります。

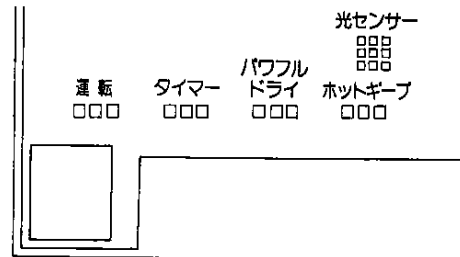
ドライ切換えボタンを押しますと，

本体のパワフルドライランプが点灯し，パワフルドライ運転を行います。もう一度押しますとランプが消灯しアメニティドライ運転を行います。（操作しない場合は，アメニティドライ運転となります。）

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので，次回からは運転／停止ボタンを押すだけでドライ運転ができます。

アメニティドライ運転中は，次のランプが点灯します。

光センサー
運転　タイマー　パワフルドライ　ホットキープ

表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

パワフルドライ：パワフルドライ運転のとき点灯します。

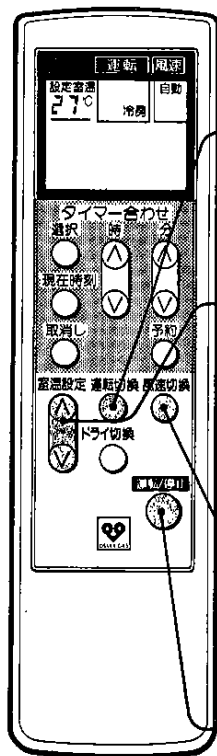
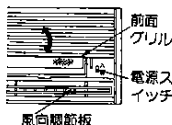
- ドライ切換えボタンで，アメニティとパワフルの運転が選べます。アメニティは湿度が約60%，パワフルは湿度が約45%が目安となります。
- 室内の湿度が高いときには風速は自動的に強風となります。

冷房運転

冷房運転は外気の温度が22℃〜42℃の範囲でお使いください。また，部屋の湿度が高いときは(80%を超えるようなとき)室内ユニットの吹出し口などに露がつくことがあります。

準備

●電源スイッチを"入"にします。
●上下風向調節板を冷房・アメニティドライの位置にします。(詳しくは☞19ページ)

前面グリル
電源スイッチ
風向調節板

1 運転切換えボタンを押します。

運転 表示部に"冷房"を表示させます。

2 室温設定ボタンを押します。

設定室温 27℃

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

設定室温は25〜28℃が冷房時に適した使用範囲です。"28"にセットすれば部屋の温度はほぼ28℃になります。なお，設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。

3 風速切換えボタンを押します。

風速 表示部にお好みの風速を表示させます。

●"自動"：運転開始時は"強風"で，セットした温度になると"弱風"に自動的に変わります。
●"強風"：冷えが速く経済的な運転を行います。
●"弱風"：静かな運転を行います。
●"微風"：より静かな運転を行います。

運転/停止ボタンを押します。

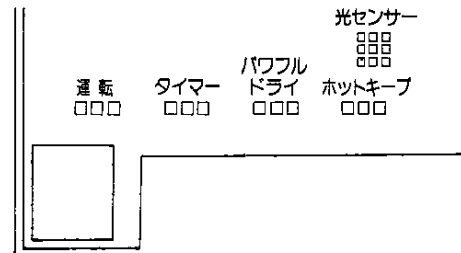
"ピッ"という受信音がして，"冷房運転"を開始します。もう一度押すと運転が止まります。部屋の温度より設定室温が高い場合は冷房運転をしません。(運転ランプは点灯します。) 設定室温を下げますと冷房運転を開始します。

運転
停止

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので，次回からは運転／停止ボタンを押すだけで冷房運転ができます。

冷房運転中は，次のランプが点灯します。

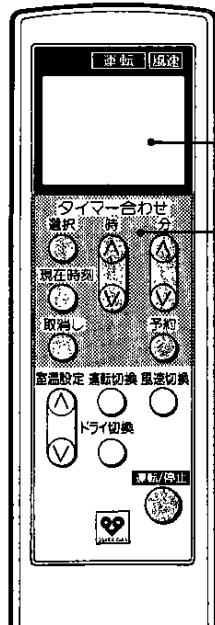
光センサー
運転
タイマー
パワフルドライ
ホットキープ

表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

●室内の湿度が高いときには風速は自動的に強風となることがあります。

タイマーのセットのしかた

●タイマーは，切タイマー，入タイマー，切⇄入タイマーの3種類の使いかたができます。これらのタイマーは，現在時刻を基準にして働きますので，最初に現在時刻をセットしてください。
●一度セットした時刻はリモコンが記憶していますので，同じ時刻を予約したいときは，"予約"ボタンだけを押してください。

現在時刻の合わせかた

電池をセットすると 午前/午後 18:88 が点滅します。

（電池のセットのしかたは20ページをご覧ください。）

1 "現在時刻"ボタンを押します。

現在時刻 ➡ 午前 0:00

2 "時・分"ボタンを押して現在時刻に合わせます。

時 分 ➡ 午後 1:30

現在時刻が午後1時30分の場合

3 "現在時刻"ボタンをもう一度押します。

点滅表示が点灯表示に変わります。

現在時刻 ➡ 午後 1:30

（●点灯表示は10秒後に自動的に消えます。●現在時刻を確認したいときは現在時刻ボタンを2回押してください。）

現在時刻のセット完了！

切タイマー

運転 ➡ 停止

セットした時刻に運転を停止させます。

1 "選択"ボタンを押して表示部に切マークを点滅表示させます。

選択 ➡ 切 午前 0:00

2 "時・分"ボタンを押して停止させたい時刻をセットします。

時 分 ➡ 切 午後 11:00

3 室内ユニットに向けて"予約"ボタンを押します。

マークの点滅が点灯に変わり，"⊙予約中"が表示されます。室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。

予約 ➡ ⊙予約中 切 午後 11:00

（左のようにセットすると午後11時に運転を停止します。）

セット完了！

入タイマー

停止 ➡ 運転

セットした時刻に設定温度になるよう運転を開始します。

1 "選択"ボタンを押して表示部に入マークを点滅表示させます。

選択 ➡ 入 午前 6:00

2 "時・分"ボタンを押して適温にしたい時刻をセットします。

時 分 ➡ 入 午前 7:00

3 室内ユニットに向けて"予約"ボタンを押します。

マークの点滅が点灯に変わり，"⊙予約中"が表示されます。室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。

予約 ➡ ⊙予約中 入 午前 7:00

（左のようにセットすると午前7時に部屋の温度がほぼ"設定室温"の温度になります。）

セット完了！

切⇄入タイマー

運転 ⇄ 停止

●切タイマーと入タイマーを組み合わせた運転をします。
●セット時刻が早い方から先に作動します。
●作動する順序は表示部に矢印で表れます。

1 "選択"ボタンを押して切マークを点滅・入時刻を点灯させます。

選択 ➡ 切 午前 0:00 ↓ 入 午前 6:00

2 "時・分"ボタンを押して切時刻をセットします。

時 分 ➡ 切 午後 10:30 ↓ 入 午前 6:00

3 "選択"ボタンを押して切マークが点灯，入マークが点滅になります。

選択 ➡ 切 午後 10:30 ↓ 入 午前 6:00

4 "時・分"ボタンを押して入時刻をセットします。

時 分 ➡ 切 午後 10:30 ↓ 入 午前 7:00

5 室内ユニットに向けて"予約"ボタンを押します。マークの点滅が点灯に変わり"⊙予約中"が表示されます。室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。

予約 ➡ ⊙予約中 切 午後 10:30 ↓ 入 午前 7:00

（この場合，午後10時30分に運転を停止し，翌朝の7時に部屋の温度がほぼ"設定室温"の温度になります。）

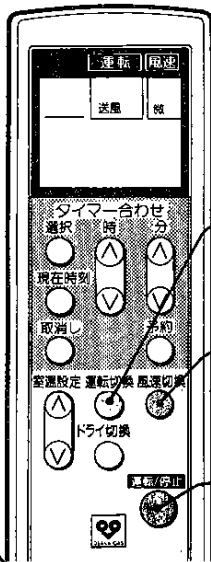
セット完了！

予約の取消しかた

リモコンを室内ユニットに向けて，"取消し"ボタンを押します。
"ピッ"という受信音がして，"予約"が取り消され室内ユニットのタイマーランプが消えます。

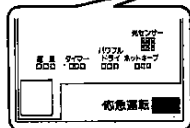
ご注意　タイマーの予約は切，入，切⇄入タイマーのうち一種類の内容しか予約できません。

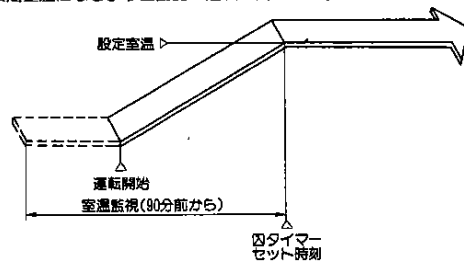
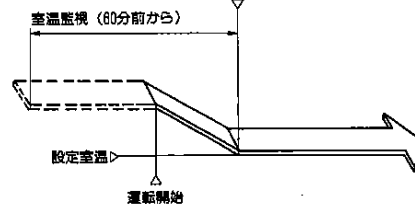
送風運転について

●室内ユニットから風だけを送る運転です。部屋の空気を循環させたいときや，冷房シーズン終了後の室内ユニットの内部乾燥をするときにお使いください。

応急運転のしかた

応急運転スイッチでの運転（リモコンで運転ができないとき）

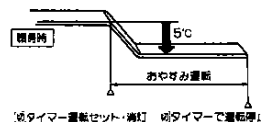
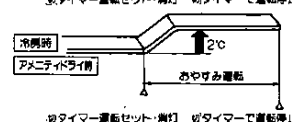
●すぐに運転したいが，電池切れなどでリモコンが使えない…こんなときは，応急運転スイッチを使って運転してください。応急運転スイッチはリモコンで運転操作ができなくなったときに使用するスイッチです。

1. 応急運転スイッチを押しますと，前回の運転内容で運転します。また，ブレーカーを「切→入」したのち，応急運転スイッチで運転したときは自動運転となります。
2. 停止するときや再びリモコンで運転するときは，応急運転スイッチをもう一度押してください。

次のようなときは"ナイス温予約"が働きます。

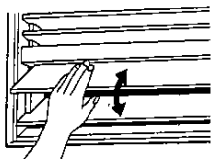
おめざめや帰宅時刻に合わせて，入タイマー運転を予約しますと，"ナイス温予約"が働き，暖房時はセット時刻の90分前から，冷房時はセット時刻の60分前からマイコンが室温を監視し，セット時刻に設定室温になるよう自動的に運転を開始します。

●室温と設定室温の差が少ないときは，"ナイス温予約"は働きません。セット時刻より運転を開始します。

次のようなときは自動的に"おやすみ運転"を行います。

夜，おやすみになるとき，切タイマー運転をセットし，部屋の照明を消しますと，光センサーの働きで，自動的に"おやすみ運転"を行います。なお，風速は自動的に"微風"になります。
（蛍光灯の保安球程度の明るさならば，点灯しておいても"おやすみ運転"になります。）

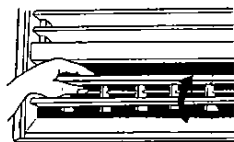
"暖房"時　睡眠に適した温度になるよう，セットした設定室温よりも自動的に5℃下げた運転を行います。

"冷房"時
"アメニティドライ"時　睡眠に適した温度になるよう，セットした設定室温よりも自動的に2℃上げた運転を行います。

風向調節のしかた

1 上下の風向調節

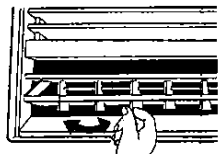
上下風向調節板の両端を持って，上下に動かし風向きの調節をしてください。

（"暖房"の場合）

上下風向調節板を，下向きにセットします。
温風が下に吹き出します。

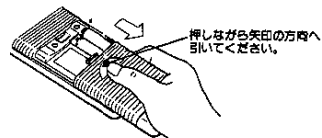
（"冷房""アメニティドライ"の場合）

上下風向調節板を水平位置で使います。

●風呂上がりなど冷気を直接肌に当てたいときは，一時的に下向きの位置で使うこともできます。ただし，長時間この状態で使いますと，上下風向調節板に露がつき，滴下することがありますので，必要のないときは水平位置にもどしてください。

2 左右の風向調節

図のように持って左右に調節してください。

リモコンの電池交換のしかた

●電池の寿命は，普通の使いかたで１年です。リモコン表示部の左下に電池マークがでましたら，次の要領で電池を交換してください。

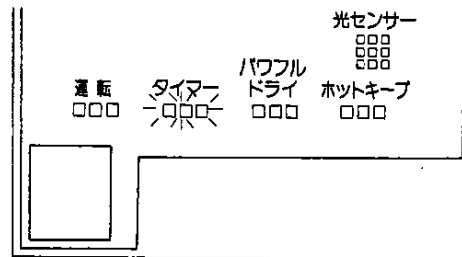
① 図の位置を押しながら，矢印の方向に"ふた"をはずし，古い電池を取り出します。

② 新しい電池を入れます。
⊕（プラス）・⊖（マイナス）はケース・の表示どおりに入れてください。

リモコン電池は，寿命期間の点から，日立アルカリ乾電池・単４形＝LR03(ＥＸ)をお使いください。

ご注意 電池の誤った使いかたは，液漏れや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

1．新しい電池と，使った電池を混ぜて使わないでください。また，種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
2．2～3ヵ月使わない場合は，電池を取り出しておいてください。

室内表示ランプの点滅について

●タイマーランプが１秒～２秒間隔で点滅するときは故障です。販売店にご連絡のうえ，点検または修理をしてもらってください。

表示部

上手な使いかた

設定室温の設定は適正に

冷やしすぎ，暖めすぎは健康上好ましくありません。また，電気のムダ使いにもなります。

窓にはカーテンかブラインドを

窓からの熱の出はいりをおさえます。

窓や戸はきちんと閉めて

閉め忘れていたり，完全に閉まっていなかったりすると，冷気や暖気が逃げてしまいます。

タイマーの有効活用を

夜は"おやすみ運転"で，朝は目覚めの時間に合わせて快適温度にしておくなど，タイマーを有効に活用してください。

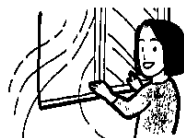
フィルターの清掃は忘れずに

フィルターの目づまりは風量をへらし,冷暖房効果を弱めます。ムダな電気を消費しないためにも2週間に1回は必ず掃除してください。

乳幼児，お子様へのご配慮を

特に，乳幼児，お子様，お年寄り，病気のかたが利用する場合は，周囲のかたが常に注意して，温度や風向きを調節してあげてください。

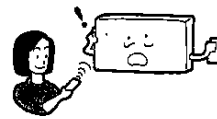
ときどき換気を

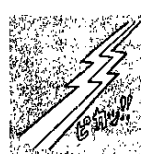
部屋を閉め切ることが多くなりますので，ときどき換気をしてください。ガス器具といっしょに使う場合は，特にご注意ください。

知っておいていただきたいこと

冷房と部屋の熱源

部屋の中に冷房能力以上の熱源（部屋の中に多くの人が入る・熱器具などを使う）がありますと，設定した室温に到達しないことがあります。

停電したときは

停電したあと再び電気がきても，保護回路の働きでエアコンは停止したままです。運転を再開するときはあらためて運転／停止ボタンを押してください。

落雷のおそれがあるときは

落雷のおそれがあるときは，機械を保護するために運転を停止して，ブレーカーを "切" にしてください。

クランクケースヒーターについて（マルチ室外ユニットのみ）

圧縮機の始動を円滑にするため，圧縮機を他の機器より若干暖めておくためのクランクケースヒーターがついています。このヒーターは運転中や外気温の高いとき以外は通電されています。室外ユニット用単相200V電源のブレーカーを切ると通電されなくなります。
シーズン始めにはじめて運転するような時には，5時間以上前（例えば前日の晩に）にブレーカーなどを"入"にしておいてください。ブレーカーを"入"にしてすぐに運転しますと故障する場合があります。

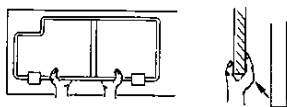
お手入れのしかた

お手入れするときは必ず運転を止めて，ブレーカー等も切ってください。

フィルターの掃除

フィルターにホコリがたまりますと，空気の通りが悪くなり，冷・暖房効果が低下します。次の要領で必ず掃除をしてください。

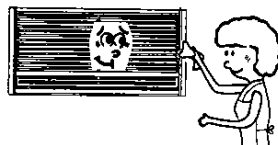
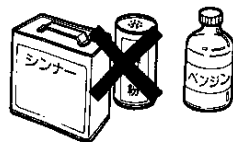
掃除のしかた

1 前面グリルの吸込口をいったん持ち上げて手前に引き出し，次にフィルターの下側を持っていったん持ち上げ，下部固定をはずしてから，下へ引き出します。

2 フィルターのホコリは掃除機で吸い取るか，汚れがひどいときは中性洗剤で洗ってください。
なお，洗ったあとは日陰でよく乾かしてください。

3 フィルターを元の位置に取り付け，吸込口をグリル枠上の溝にはめ込んで元にもどしてください。

- **40℃以上のお湯で洗わないでください。**
  フィルターが縮むことがあります。
- **フィルターをはずしたままで運転しないでください。**
  機械にホコリが入り故障の原因になります。

外側の掃除

やわらかい布でからぶきしてください。

- **40℃以上のお湯は使わないでください。**
  変形や変色することがあります。
- **次のようなものは使わないでください。塗装面をいためたり，割れ，変形，きずの原因になります。**
  ベンジン・シンナー・みがき粉など。

- **化学ぞうきんを使用の際は，その注意書に従ってください。**
- **直接，水をかけて掃除をすることは絶対しないでください。**
  漏電や感電のおそれがあります。

1ヵ月以上使わないときは

- 晴れた日に半日ほど送風運転（運転切換えボタンを“送風”にする）を行い，エアコン内部を乾燥させてください。

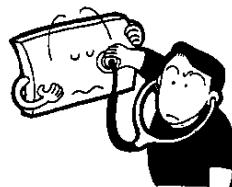
定期点検

半年～1年に一度定期的に次の点検を行ってください。
もしご不審な点がありましたら，すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

1		アース線がはずれたり，途中で切れていませんか？
2		据付台が極端にさびていたり，室外ユニットが傾いているなど，不安定になっていませんか？

点検整備

エアコンを数シーズンお使いになりますと，内部が汚れ，性能が低下することがあります。

ご使用状態によっては，においが発生したり，ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることもあります。
通常のお手入れとは別に，点検整備をおすすめします。
点検整備の費用など詳しいことはお買い上げの販売店または，もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

アフターサービスと保証

① サービスを依頼されるときは

故障かな？……・・・と思ったら，次のことをお調べください。

状　　況	次の点をお調べください。
運転しないとき	⑴電源スイッチが"切"になっていませんか？ ⑵リモコンの電池が切れていませんか？ ⑶ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ⑷停電ではありませんか？
よく冷えないとき または よく暖まらないとき	⑴フィルターにホコリが詰っていませんか？ ⑵"設定室温"のセットは適正になっていますか？ ⑶上下風向板は運転内容に合った正しい位置になっていますか？ ⑷室外ユニットの吸込口や吹出口を障害物でふさいでいませんか？ ⑸部屋の窓や戸があいていませんか？

以上のことをお調べになり，それでもぐあいの悪いときや下記の症状のときは，ブレーカーを"切"にして，すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせいただきたいこと
1.形　　名——49-305 49-306
2.故障状態——できるだけ詳しく
3.道　　順——付近の目印も

- ●ブレーカー・ヒューズがたびたび切れる。
- ●スイッチの動作が不確実なとき。
- ●誤って異物や水を入れてしまったとき。
- ●コードの過熱や被覆の破れがあるとき。
- ●室内ユニット表示部のタイマーランプが点滅するとき。

これは故障ではありません

⑴ときどき水の流れるような音や，沸騰するような音(ボコボコ)がすることがあります。これは冷凍液が流れる音で，停止したときも出ることがあります。
⑵ときどき「プシュ」という音がすることがあります。これは冷凍液の流れの方向をかえるために，弁が作動する音です。(マルチ室外ユニットと組合せた場合)
⑶ときどき「キシ・キシ」という音がすることがあります。これはエアコン自身が温度変化によって，膨張したり収縮するために出る音です。
⑷冷房運転やドライ運転中に，吹出口から霧が出ているように見えることがあります。これは低温多湿時に見られる現象で，部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
⑸エアコンからにおいがでてくることがあります。これは空気中に含まれたいろいろなにおい(タバコの煙，化粧品，食品など)がエアコンに付着し，それが出てくるためです。
⑹室外ユニットの運転音の大きさが変わることがあります。これは室温に応じて，圧縮機の回転数が変わるためです。
⑺電源スイッチを"入"にしたとき，および停電後の電源復帰時には室内ユニット内部の温水弁から"カチ，カチ……"という音が数秒間でます。これは温水弁の制御音です。
⑻運転開始時に「バサバサ」という音がすることがあります。これは室内ファンの回転数が変わるためです。

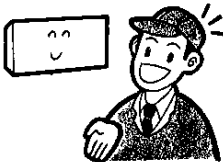
② アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合，その他お困りの場合は，お買い上げの販売店または，もよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

③ 転居されるときは

ご転居により，お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は，前もって販売店または，もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

再据付工事のお申込みは

再据付工事（転居または別の部屋に移動）を販売店に依頼する場合は，できるだけ夏期を避けるようお願いします。夏期は販売店の据付工事が忙しく，据え付けが遅れることがあります。なお，据付工事は専門の技術が必要ですのでお客様自身で行わないでください。
(再据付工事の費用など詳しいことは，お買い求めの販売店にご相談ください。)

④ 補修用性能部品の保有期間について

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は，製造打切後10年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤ 保証について

1．この商品は保証書付きです。

保証書は，販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので，記載内容をご確認いただき，大切に保存してください。

2．保証期間はお買い上げの日から1年間です。

ただし，冷凍サイクル部分は３年間です。
なお，保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

3．保証期間経過後の修理については，販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは，お買い求めの販売店または，もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

仕 様

（シングル組合せ）

形式名		室内ユニット 49-306	室外ユニット 04-311
種類		暖冷房兼用セパレート壁埋込形	
電源		単相100V，60HZ	
冷房能力（kW）		3.2(1.7～3.6)	
除湿能力（ℓ/h）		1.8	
冷房面積の目安（㎡）	鉄筋アパート南向き洋室	22	
	木造南向き和室	15	
暖房能力（kcal/h）		1500～3200(1.5ℓ/min，60deg)	
消費電力（W）	冷房	1380	
	暖房	65	
運転電流（A）	冷房	15.0	
	暖房	0.7	
力率（%）	冷房	92	
騒音（dB）		46	46
外形寸法（高さ×幅×奥行）（㎜）		380×795×240	520×795×250
質量（kg）		18	40
付属品		据付用部品一式	

（マルチ組合せ）

形式名			
形式名	室内ユニット	49-305	49-306
	室外ユニット	04-302	
種類		暖冷房兼用セパレート壁埋込形	
電源	室内ユニット	単相100V，60Hz	単相100V，60Hz
	室外ユニット	単相200V，60Hz	
冷房能力（KW）	1台運転	2.5(2.2～2.8)	3.2(2.8～3.6)
	2台同時運転	1.8(1.2～2.2)	2.8(1.8～3.3)
	3台同時運転	1.3～1.9	1.7～2.5
冷房面積の目安（㎡）（1台運転時）	鉄筋アパート南向き洋室	17	22
	木造南向き和室	11	15
暖房能力（Kcal/h）		1000～2600(1.5ℓ/min，60deg)	1500～3200(1.5ℓ/min，60deg)
消費電力（W）	冷房（3台同時）	3260	
	暖房	65	65
運転電流（A）	冷房（3台同時）	18.1	
	暖房	0.70	0.70
力率（%）	冷房（3台同時）	90	
騒音（dB）	室内ユニット	42	46
	室外ユニット	52	
外形寸法（高さ×幅×奥行）（mm）	室内ユニット	380×795×240	380×795×240
	室外ユニット	780×865×310	
質量（kg）	室内ユニット	18	18
	室外ユニット	72	
付属品		据付用部品一式	

※「2台同時運転」とは，305タイプ，306タイプ各々1台接続したときの2台同時運転を示します。
「3台同時運転」とは，305タイプ2台，306タイプ1台を接続したときの3台同時運転を示します。

据え付けについて

据付工事や電気工事は専門の技術が必要ですので，販売店に依頼してください。（据付工事や電気工事の費用など詳しいことは，お買い求めの販売店または工事店にご相談ください。）据付場所の選定や電源の取りかたについては，販売店と相談して決めてください。なお，アースは感電防止のほか静電気のいたずらや雑音を防ぐ効果もありますので必ず設置してください。

据付場所

●除湿水排水ホースから除湿水が出ますので，水はけのよい場所をお選びください。
●可燃性ガスの漏れるおそれのあるところや，蒸気・油煙などの発生するところはさけてください。
●温泉地など硫化ガスの発生するところ，海辺地区で潮風があたる場所などに据え付ける場合は，腐食などにより故障の原因になることがありますので，お買い上げの販売店にご相談ください。
●室内ユニットおよびリモコンは，テレビやラジオから1m以上離してください。映像の乱れや雑音が入る場合があります。

■騒音にもご配慮を

●据え付けにあたっては，エアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で，騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
●エアコンの室外ユニット吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンの室外ユニット吹出口の近くに物を置きますと，機能低下や騒音増大のもとになりますので，吹出口付近には障害物を置かないでください。
●エアコンをご使用中に異常な音がする場合などは，お買い上げの販売店にご相談ください。

電源について

●電源は，配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

●万一漏電したときの感電防止のために，アースをしてください。
特に湿気の多いところに据え付けるときは，法規で定められたアースをすることが義務づけられています。
詳しくは，お買い上げの販売店にご相談ください。

●次のようなところにアース線を接続しないでください。
①水道管
②電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

●漏電しゃ断器について
水気の多いところに据え付ける場合は，アースのほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法規で義務づけられています。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

メモ